

新型コロナウイルスと自転車 Coronavirus disease 2019 and bicycles

赤松正行、松井茂
AKAMATSU Masayuki and MATSUI Shigeru



2019年末に自動車事故に遭い、2020年3月末まで入院していた。新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行が始まった時期に重なり、病院では次々と感染防止策が強化されていた。医師や看護師は常時マスクを着用し、入院患者には随時

手洗いと消毒が求められた。病院の出入口が封鎖され、来院者に検温と消毒が行われ、やがて面会禁止に至る。言わば病院のロックダウンであり、外部との接触が最小化されたわけだ。

Critical Cycling
クリティカル・サイクリングについて
一覧
規定
English

Search Results for: 新型コロナウイルス

①

新型コロナウイルスと自転車：予防編
2020-03-20 / 赤松 正行 / 健康, 安全
2019年末から新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) が猛威をふるい、世界的な大流行は現在も収まる気配がない。日本でも多数の感染者や死亡者が発生し、一斉休校やイベントの自粛、公共施設の閉鎖といった対策が取られている。

READ MORE

④

自転車と放蕩娘 (10) 自律分散型社会のための思考訓練
2020-03-28 / 伊村 靖子 / アート, ライド, 考察
この週末、新型コロナウイルスのオーバーシュート（爆発的患者急増）を避けるため、首都圏5都県をはじめ福島、茨城、富山、鳥根など計13県が外出自粛要請や東京方面への移動の自粛を呼びかけている。私も出張をとりやめ、天候を見計ら

READ MORE

②

【輪行しませんか?】エア台湾編(1)
2020-04-12 / 三木 悠尚 / 交通機関, 台湾, 輪行, 道路, 都市
新型コロナウイルスの影響で自由に外出、旅行できない状況が続いている。もちろんこの連載で取り上げている輪行も公共交通を利用するわけだから例外ではない。そんなわけだから、今回はレポートではなく、あえて事前のプランニングについ

READ MORE

自転車と放蕩娘 (11) マドリオン・ギンズが語る「天命反転」
2020-04-28 / 伊村 靖子 / アート, ライド, 考察
1日の気温差が激しい4月のライドでは、天気予報やルートをもとに服装の調節を意識する。今回目指したのは養老山（三方山）だ。ハイキングの気温の変化にも注意を払い、晴れた日の早朝、片道2時間半ほどかけて一人出かけた。

READ MORE

⑤

新型コロナウイルスと自転車：ライド編
2020-05-03 / 赤松 正行 / ライド, 健康, 安全
新型コロナウイルスの猛威は収まることなく、緊急事態宣言の拡大や延長で人々は疲弊している。厚生労働省のQ&Aによれば、緊急事態においては不要不急の外出を避け、3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）の避けることを求

READ MORE

③

素晴らしき自転車ライフ
2020-05-09 / 赤松 正行 / 写真, 文化, 考察
「素晴らしき自転車ライフ」は、こだわりの、だれど少し力が抜けたフォト・ブック。原書は「My Cool Bike: An Inspirational Guide to Bikes and Bike Culture」と題され

READ MORE

⑥

新型コロナウイルスと自転車：グループ・ライド編
2020-05-15 / 赤松 正行 / ネットワーク, ライド, 健康, 安全, 技術
クリティカル・サイクリングでは「新型グループ・ライド」と銘打って、新型コロナウイルス時代のサイクリングの在り方を実践的に検討している。これは、ワクチンが開発されていない以上、以前と同じ生活に戻るは随分と先になるからだ。

READ MORE

[Cyclist's Cycles 自転車家12ヶ月] 5月(後編)
2020-05-27 / 吉岡 史樹 / ロード・バイク, 考察, 道路
自転車漫画「のりりん」の第1話では、自動車が趣味である主人公が、自転車に乗っている人が嫌いである理由を告白している。その理由のいくつかをセリフから抜き出すと「スポーツだか移動手段だかはっきりしない」「非日常を無理やり

READ MORE

一方で、病院の外の一般社会は無頓着だった。外出許可を得て訪れたIAMASでは僅かな人しかマスクをしておらず、声高に話し合っていた。厳格な入院生活を送っていた者からすれば恐怖を覚えるほどだ。すでに海外では猛威をふるっていたにもかかわらず、インバウンド需要など経済活動を優先した政府の対応は遅れ、人々の危機感は薄かった。もっともIAMAS近郊では2月末に初めて感染者が確認されたように伝搬が遅かったのも確かだ。

これは自転車でも同じで、国内メディアでは海外の自転車レースが中止されたといったニュースが流れる程度でしかなかった。自転車関連の公的機関や民間団体も、何ら指標を示さない。そこでクリティカル・サイクリングでは海外の状況

をオンラインで調べ、自転車利用時の感染予防策を「新型コロナウイルスと自転車：予防編」①としてまとめた。この種の記事としては日本で最初と思われるが、それでも3月20日のことだ。

このクリティカル・サイクリングは自転車に乗ることを楽しみ、その批評性を追求する任意グループとしてIAMASを中心に2016年4月より活動をしている。誰もが新型コロナウイルスに大きな影響を受けているので、クリティカル・サイクリングも無縁ではいられない。いや、むしろ新型コロナウイルスと自転車を通して、メンバーそれぞれの立場から生活や社会に対して実践的に取り組み、考察する機会が増えたと言えるだろう。

Critical Cycling
クリティカル・サイクリングについて
一覧
規定
English

Search Results for: 新型コロナウイルス

15

新型コロナウイルスと自転車：道路編

2020-06-03 / 赤松 正行 / 健康, 安全, 道路, 都市

要約 新型コロナウイルス感染症の世界の大流行により電車やバス、自動車の利用が減少する中で、徒歩や自転車の移動が重要になった。このために、欧米では道路の一部を自転車や徒歩での移動のために転用している。具体的には障害物を

READ MORE

技術未取得機器を用いた実験等の特例制度

2020-06-09 / 赤松 正行 / アクセサリー, 法令, 電動アシスト自転車

近年はサイクル・コンピュータ、電動シフト、電動アシストなど自転車の電氣化・電子化が著しい。これらがワイヤレス通信を行うのであれば、法的には安全基準などの技術的要件が認定された技術マーク付きの機器を用いる必要がある。技術マ

READ MORE

[車輪の言葉、車輪の数] "21" について

2020-06-18 / 吉岡 史樹 / 京都, 歴史, (自転車)

2020年5月21日、薄曇りの天気の下、京都市南区東九条南石田町にある「竹田工務店」の前によってきた。この日の目的は、ある調査を行うために、実際の作業が行われている現場に行き、作業状態の確認を行うことである。その調査の

READ MORE

猫と自転車に乗れたなら (3)

2020-06-24 / 金山 智子 / アクセサリー, 動物

猫と自転車に乗れたなら～猫は自転車に乗せることが難しい動物である。しかし、飼い主の努力と便利なグッズ次第で、一緒に自転車に乗れるようになる。前回の記事を読んでいたみなさんからの目には見えないエールを感じた私。実践

READ MORE

12

巨大積載量を誇るフード・デリバリー用バッグ

2020-06-27 / 赤松 正行 / アクセサリー

新型コロナウイルス感染防止として自転車が注目されている。満員電車や交通渋滞を避けることができ、環境負荷が低く、健康にも良いからだ。もっとも自転車も万能ではない。例えば、大きな荷物を運ぶのは簡単ではない。トレーラーやカーゴ

READ MORE

新型グループ・ライドのギア～ビジュアル編

2020-07-09 / 赤松 正行 / アクセサリー, ネットワーク, ライド, 健康

新型コロナウイルス禍における新型グループ・ライドでは、各地に散らばる参加者が同時にサイクリングをしながら、オンライン会議システムでコミュニケーションを取ることを試みた。この時、お互いにカメラの映像を送っていても、それを見

READ MORE

「サイクリング」「サイクリスト」のフレームの外へ

2020-07-12 / 宮田 浩介 / 文化, 社会, 考察

cycling と「サイクリング」はイコールではない。このことを再確認し共有する必要を、近ごろ強く感じる。COVID-19パンデミックを受け世界で盛んに交わされている自転車利用全般の話が、日本語に入ってくるなり「サイクリ

READ MORE

7

新型グループ・ライド 2020 Summer

2020-07-15 / 赤松 正行 / イベント, ライド, 健康

来る7月23日に新型グループ・ライドを行います。これはオンライン会議サービスを利用して、お互いに離れた場所でコミュニケーションを取りながらサイクリングをする、新しい形の自転車イベントです。日本のみならず世界中どこからでも

READ MORE

クリティカル・サイクリングのWEBサイトを「新型コロナウイルス」で検索すると39の記事が見つかる(2021年2月28日時点)。最初の記事以降、本稿執筆時点での記事総数は108なので、36%もの高い割合だ。その中には枕詞的に簡単に触れた程度の記事もあるが、新型コロナウイルスと自転車を主題に据えて調査や考察を展開した記事も多い。タイトルや文章の冒頭抜粋から内容を推測できるだろうが、ぜひ実際の記事にもあたって欲しい。

さて、3月から4月にかけて外出や移動が制限されるようになる。この時期の記事には、空想の自転車旅行を計画した「[輪行しませんか?] エア台湾編」②や、数年前に出版された写真集を眺めて感傷的になる「素晴らしき自転車ライフ」③がある。一

方で過度な自粛の弊害から適度な運動が必要とされ、混雑を避けて一人で郊外に自転車で出掛ける「自転車と放蕩娘(10) 自律分散型社会のための思考訓練」④なども綴られている。

5月には、次第に明らかになってきた自転車に乗る際の注意点をまとめて「新型コロナウイルスと自転車：ライド編」⑤を著した。しかし、それでも友人と一緒にライドする際のリスクが残る。そこで、離れた場所においてもオンラインで繋がって一緒に走っている感覚を得る仕組みを考案して「新型コロナウイルスと自転車：グループ・ライド編」⑥で提案した。これは新型グループ・ライドと称して数回実施している⑦～⑪。

新型グループ・ライドは自転車への情報通信技術の導入だ。

Critical Cycling

クリティカル・サイクリングについて 一覧 規定 English

Search Results for: 新型コロナウイルス

新型コロナウイルス

13



新型グループ・ライドのギア、オーディオ編

2020-07-21 / 赤松 正行 / アクセサリー、ネットワーク、ライド、健康

新型コロナウイルスの感染予防に配慮した新型グループ・ライドは、各地の人々が自転車に乗りながらオンライン会議システムに集う。その際に音声による参加者同士の会話が必要なので、聞き取りやすいイヤホンやマイクを使いたい。ただし、

READ MORE

8



新型グループ・ライド 2020 Summer 開催レポート

2020-07-27 / 赤松 正行 / イベント、ライド、健康

IAMASオープンハウスの一環として行われた新型グループ・ライド 2020 Summerは、新型コロナウイルス禍とともに、異常気象とも言える長く降り続く梅雨空の元で行われた。激しい雨で走行を断念した人も多かったものの、結

READ MORE



トーマス・スティーブンスの自転車世界一周冒険譚

2020-08-09 / 赤松 正行 / ライド、歴史、特殊自転車、資料

自転車乗りなら自転車で世界一周を一度は夢見るかもしれない。だが実際には困難極まりない。時間、費用、体力、気力、いづれも途方もないからだ。そんな偉業を世界で初めて成し遂げたのが、イギリスのトーマス・スティーブンス (Thom

READ MORE



エイミー・ウォーカーの自転車生活でいこう！

2020-08-21 / 赤松 正行 / 文化、社会、考察

カナダのバンクーバーで暮らすサイクリスト、エイミー・ウォーカーが編集した「自転車生活でいこう！」は、サブタイトルの「自転車が人生を変える50の理由」が示すように、50の観点から33人の自転車好きが自転車を論じたエッセイ集

READ MORE



ケイシー・ナイスタットの自転車レーン

2020-09-03 / 赤松 正行 / ニューヨーク、安全、法令、道路

ケイシー・ナイスタット (Casey Neistat) は映画監督にしてYouTuber、トレード・マークのサングラスをかけてデジタル・ガジェットを使い倒し、ニューヨークを所狭しと駆け回る悪ガキぶりが印象的。そんな彼の出世作

READ MORE



新型コロナウイルスと自転車：マスク編

2020-09-09 / 赤松 正行 / アクセサリー、健康

新型コロナウイルス感染症の流行から数か月が経過し、落ち着く気配があるのかないのか分らないまま、鈍痛のような危機感を覚えながら毎日過ごしている。今後の見通しには諸説あるものの、100年前のスペイン風邪に倣うなら、収束まで

READ MORE



新型コロナウイルスと自転車：マスク番外編

2020-09-21 / 赤松 正行 / アクセサリー、健康

新型コロナウイルス感染予防のために、先の記事では夏に自転車に乗るためのマスクを紹介した。そして季節は巡り、肌寒い日もある秋となればマスクの暑苦しさも幾分は解消される。これからは各メーカーは素材やデザイン、そして機能を追

READ MORE



猫と自転車に乗れたなら(6)

2020-09-24 / 金山 智子 / 京都、動物、都市

猫と自転車に乗れたなら～今年の夏は、自転車に乗るのも躊躇わせるほどの猛暑だった。とは言うものの「暑さ寒さも彼岸まで」で、9月下旬になるとさすがに秋めいてきた。いよいよ自転車乗りの季節到来である。そこで、とある晴天の日曜

READ MORE

54 | 55

しかも走行中の使用が想定されていないサービスや機器を手懐けなければならない。そこで「新型グループ・ライドのギア〜ビジュアル編」⑫、「オーディオ編」⑬、「Theta Z1で360度全天球映像のライブ配信」⑭といった検証作業を行った。本来はグループであっても黙々と走るのに対して、このような過剰なコミュニケーションのあり方はまだ試行錯誤の段階だ。

ところで、海外では早い時期から安全で実用的な移動手段として自転車が注目され、専用レーンの整備が急速に進んでいた。そこで内外の情勢に詳しい識者を迎えて「新型コロナウイルスと自転車:道路編」⑮を対談形式で記した。同じ問題を扱ったガイドブック「NACTOの街路のパンデミック、その対応と復興」⑯も紹介している。もっとも日本では未だに旧態依然とした

道路事情であり、変革の機運に欠けているのが残念だ。

誰もが痛感しているように新型コロナウイルスによって世界は一変した。困難や不幸は計り知れないが、一方で新しい世界を招き入れるチャンスでもある。そこでは古くて新しい自転車が、これまで以上に活躍するに違いない。バランスの復権を唱えるクリティカル・サイクリングもまた、実践と思索の場で在り続けるだろう。そのためにこそペダルを踏み、風をまとい、地平の消失点を目指したい。多くの方の参加をお待ちしています。(赤松)

新型グループ・ライド2020 松井茂

この1年、Zoomを使っでの授業、会議、研究会から、気楽

Critical Cycling
クリティカル・サイクリングについて
一覧
規定
English

Search Results for: 新型コロナウイルス

⑨

新型グループ・ピクニック
2020 Autumn
2020-10-09 / 赤松 正行 / イベント, ライド, 健康, 飲食
ニュー・ノーマル時代に向けて「新型グループ・ピクニック」を開催します。これは新型コロナウイルスの感染を避けて、人々がオンラインで繋がるピクニックです。自宅でも景勝地でも、徒歩でも自転車でも構いません。好きな場所で好きなス
[READ MORE](#)

⑩

マウリシオ・カーゲルの111人のサイクリストのための音楽
2020-10-15 / 赤松 正行 / イベント, ライド, 音楽
マウリシオ・カーゲル (Mauricio Kage) の「Ein Brise」(1996) は、ドイツ語で「そよ風」の意味で、なんと111人のサイクリストによって演奏される楽曲だ。実際に何度か演奏され、その記録が公開されてい
[READ MORE](#)

⑪

NACTOの街路のパンデミック、その対応と復興
2020-10-21 / 赤松 正行 / 健康, 資料, 道路, 都市
全米都市交通担当官協会 (NACTO) が作成した「Streets for Pandemic Response & Recovery」は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対する世界各地のストリート・デザ
[READ MORE](#)

⑫

[車輪の言葉、車輪の数] ツールのホイール
2020-11-19 / 吉岡 史樹 / レース, ロード・バイク, 安全
秋も深まった紅葉の時期にツール・ド・フランスを話題にすることは、少し変な感じがするかもしれない。しかし、今年のツールは開催時期が例年と異なっていたことは、皆さんがご存知の通りである。第107回となるこのレースは、202
[READ MORE](#)

⑬

自転車と放蕩娘 (18) 自転車での世界一周から考えること
2020-11-30 / 伊村 晴子 / タンデム自転車, ライド, 考察
去る11月18日、2人の女性が自転車に関するギネス世界記録を更新した。今年のギネス世界記録のテーマは「Discover your World」。そのタイトルにふさわしく、タンデム自転車で最速の世界一周を成し遂げたのが、イ
[READ MORE](#)

⑭

Theta Z1で360度全天球映像のライブ配信
2020-12-27 / 赤松 正行 / アクセサリー, ネットワーク, 技術, 映像
360度全天球カメラの多くは、映像のネットワーク配信が可能だ。この時、HMDを用いれば、鑑賞者は任意の方向を見ることができ、そこで自転車で乗りながら映像を配信すれば、鑑賞者は自宅に居ながらにして自転車に乗る体験が得られ
[READ MORE](#)

⑮

猫と自転車に乗れたなら (9)
2020-12-24 / 金山 智子 / 文化, 文学
サンタと自転車に乗れたなら～今年のクリスマスはステイホームという人たちがきっと多いだろう。しかし、子どもたちはCOVID-19 (新型コロナウイルス) 状況があるうとも、純粋にサンタさんを心待ちにしているはずだ。この数年
[READ MORE](#)

⑯

松本俊夫の銀輪、そして憂鬱のアーカイブ
2020-12-21 / 赤松 正行 / 文化, 映画, 歴史
日本の実録映画の第一人者である松本俊夫の「銀輪」(1956) は、自転車を題材とした12分弱の短編映像で、日本自転車工業会が自転車の輸出促進のために発注した宣伝映画だ。これが東京大学を卒業後入社したばかりの映画会社での初監
[READ MORE](#)

な打合せまで、オンラインによるコミュニケーションが日常生活の一部となり、徐々に適応した。すこし疎遠になっていた人との再会など、SNS初期を彷彿とさせるコミュニティの再編があった。

Critical Cyclingにおいて、私のように自転車に乗らない参加は異端視されてきたが、Zoomを使用した新型グループライドの登場によって役割ができた。それはグランド・コントロール。要約すれば、走行音で音量がうるさくなったサイクリストをミュートする役割だ。とはいえ、ただスイッチャーをするわけでもなく、見ず知らずの人も含み、ミュートしたり、話しかけつつ、サイクリストを繋ぐところに、コントロールの意義がある。

特に、サイクリストでもある赤松武子さんと共に担当したグランド・コントロールは得がたい経験だった。私が戸惑っているのを尻目に、サイクリストの観点から、ライド中は活用が難しいGPSをサポートしながら、バラバラに走りながら、近距離にいるサイクリストを確認して、ライド時間中に合流を果たすような誘導もあり、ちょっとしたドラマを演出することにもなった。遠隔地からの参加者にとっては、物理的な合流があり得ないいっぽう、こうしたドラマツルギーを持った時間の共有がもたらす一体感は、独特のコミュニケーションをデザインしていると感じた。

Zoomの続編として、Clubhouseによるグループ・ライドも開催した。音声チャットのみの試みだ。結論からいうと、

Critical Cycling

クリティカル・サイクリングについて 一覧 規定 English

Search Results for: 新型コロナウイルス

新型コロナウイルス



a+uのバイシクル・アーバニズム

2021-01-03 / 赤松 正行 / 考察, 道路, 都市

雑誌「a+u」2021年1月号の特集が「バイシクル・アーバニズムー新しいモビリティと変化する都市」と知って取り寄せた。冒頭の数ページを除いて、その後のほぼすべての約190ページを自転車と都市に費やす充実度。建築と都市の情

READ MORE



軽く自転車が登場するポップ・ソングs選

2021-01-09 / 赤松 正行 / 映像, 音楽

どこまでも拡大し常態化する新型コロナウイルス感染症、地球温暖化の逆証明なのか近年稀に見る大寒波、傲慢なポピュリズムにより崩壊寸前の民主主義などなど、目を覆いたくなる状況が続く。そんな時にこそ能天気な音楽を聴くのはどうだろ

READ MORE



⑩

新年新型グループ・ライド 2021

2021-01-15 / 吉岡 史樹 / ライド, 京都, 兵庫

2021年の正月を迎えた。自転車家にとっての新年参賀のための移動手段は、言うまでもなく自転車である。しかし今の世の中は年が改まったからと言って関係なく、新型コロナウイルス感染症の影響が続いている。そのような中で、季節や

READ MORE



Activ5でアイソメトリック自転車エクササイズ

2021-02-03 / 赤松 正行 / アクセサリー, トレーニング

ActivbodyのActiv5は、掌サイズの小さな筋力トレーニング用デバイス。いつでもどこでも手軽に使えて、スマートフォンのアプリと連携して効率的に筋力アップに取り組むことができる（はず）。圧力センサーが仕込まれた単純

READ MORE



⑪

新型グループ・ライド 2021 Winter

2021-02-09 / 赤松 正行 / イベント, ネットワーク, ライド

来る2月21日に新型グループ・ライドを行います。これはオンライン・サービスを利用してコミュニケーションを取りながら、お互いに離れた場所ありながら一緒にサイクリングをする、新しい形の自転車イベントです。日本のみならず世界中

READ MORE



移動貧困社会からの脱却

2021-02-15 / 赤松 正行 / 事故, 安全, 自動車, 電動アシスト自転車

楠田悦子の編著、高齢者事故からモビリティを考える会の執筆による「移動貧困社会からの脱却」は、クルマを運転できなくなった高齢者の問題に対して、多様な観点から解決策を紹介する書籍だ。日本は融通がきかないクルマ至上社会であり、

READ MORE



新型グループ・ライド 2021 Winter 開催レポート

2021-02-27 / 赤松 正行 / イベント, ネットワーク, ライド

2021年2月21日、やや肌寒くも快晴で爽快な朝、新型グループ・ライド 2021 WinterをIAMAS会館でのイベントとして開催した。これは遠隔地にいながらオンラインで繋がって一緒にライドをする趣向。これまではZoo

READ MORE

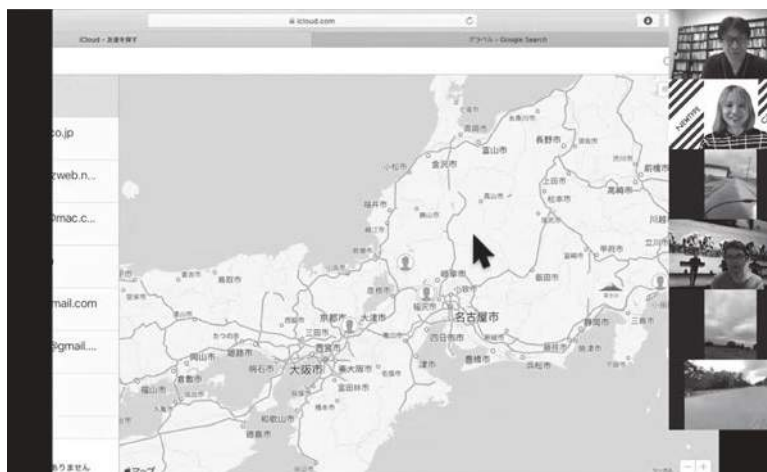
56 | 57

この場合、グランド・コントロールは必要なかったと思う。音声の入出力のノイズがとても制御されていることで、コントロールすべきノイズがほぼなかったのだ。逆から言うと、視覚情報がなくてノイズがない状況は、グランド・コントロール役にとっては、ライドの状況に関する手がかりがなかった。他方で、clubhouseならではの、聴衆からの発言や参加をもとめることを重視すべきだったかもしれない。あるいは、複合的なメディアの使い方を考えるべきだった。さらにはコントロールという中心を抜きにして、ほんとに気ままにバラバラに走りながら、発言したいサイクリストが適宜話するようなコミュニケーションもあり得ただろう。

Critical Cyclingの取り組みの中で、こうしたソフトウェアを活用したグループ・ライドの試みは、コミュニケーション

の目的にあわせたデザインをはかること、「自転車に乗る」という行為を前提に成立する集団の属性を改変することに繋がると感じた。私が言いたいことは、集団を強化することではないのだが、実際にはそれも可能だろうし、ビジネス・チャンスや具体的な政治性を持つことも想像される。

個人的関心の向きは、テーマ設定や、発話者の役割を入れ換えていく、ソフトウェアの複合的活用の設計を実践することで、サイクリストの母集団を、地域、世代、性別、傾向の偏りを改変しつつ、新陳代謝する。サステナビリティをもった集団を形成していくことができるのではないか？ いささか理想化しているかもしれないが、そんなことを夢想した1年だった。(松井)



新型グループ・ライドでの参加者の現在位置表示 (Zoom, 2020 年 7 月 23 日)



新型グループ・ピクニックでの参加者の映像表示 (Zoom, 2020 年 10 月 24 日)